

～さらに住みよい安城市を目指して～

横田雅史 市政レポーター



発行：横田雅史

連絡先：〒446-8511 安城市里町長根2-1

TEL：0566-96-0147

FAX：0566-96-0148



ご挨拶



安城七夕まつり
「レインボーロード」

初秋の候、朝夕の空気に少しずつ秋の気配が感じられるようになってまいりました。皆さまにはお元気にお過ごしのことと存じます。今年の安城七夕まつりは「虹」をテーマに開催し、まち全体が色とりどりに輝く、とても華やかな3日間となりました。101万人もの方にお越しいただき、にぎやかで楽しい夏の思い出がたくさん生まれたことと思います。開催を支えてくださった1000人を超えるボランティアの皆さまの温かいご協力に、心から感謝申し上げます。

9月には、令和8年度に向けた政策要望も提出いたしました。これからも、市民の皆さまが安心して暮らし、笑顔で過ごしていただけるよう、力を尽くしてまいります。

健康福祉常任委員会にて行政調査

調査先：石川県金沢市『重層的支援体制整備事業について』

○重層的支援体制整備事業は、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズ（介護、障がい、子育て、生活困窮など）に対応するため、属性や世代を問わず相談に応じ従来の分野ごとの支援を超えて、多機関が連携し包括的で切れ目ない支援体制をつくる事業です。

社会福祉法の改正により創設されました。（令和3年4月施行）



金沢市役所でお聞きしました



金沢市では社会福祉協議会が、「複雑な困りごとを抱える人」を、地域や関係機関と連携しながら支援につなぎ、伴走支援を実施するため「支え合いソーシャルワーカー」を配置し支援にあたっていました。高齢・子育て・障害・生活困窮等さまざまな分野が重なり合った生活課題を解決するため、以下の事業を通して支援を実施しています。

・多機関協働事業 ・アウトリーチ等支援事業 など

従来は分野ごと（高齢・障がい・子育て等）の支援窓口が分かれていたため、8050問題・ダブルケア・ヤングケアラーなど複合課題の解決が難しい状況がありました。重層的支援体制整備事業では制度の狭間や既存支援では手が届きにくい人にも支援が届く体制を整えます。

金沢市では、この体制により増加傾向にある近隣トラブルにも制度や分野の壁を越えたつながり続ける支援が実現しやすくなっているだけでなく、困難な状況にある市民を見過ごさない仕組みが構築されていることが大きな学びでした。

令和7年度から、安城市でも重層的支援体制整備事業の取組みを進めています。



令和7年9月定例会

令和7年9月定例会では、各議案・請願への質疑や一般質問が行われました。
令和6年度の一般会計・特別会計歳入歳出、議案として提出された条例改正や令和7年度一般会計・特別会計補正予算（4億4千万円余）など合計21本を原案通り可決し閉会しました。

令和7年度 特別会計補正予算（主な増額内容を抜粋）

介護認定期間の短縮を図るため、介護認定調査員を増員します。

○介護保険事業特別会計（補正額：+550万円）

介護認定にかかる申請から認定までの処理期間の短縮を図るため、介護認定調査員を増員し、新たに増員した調査員の育成を行う。

- ・調査員人数：令和6年度末 16人 → 令和7年8月末 18人
- ・認定までの平均日数：令和6年度 49.8日 → 令和7年度(4月～8月)35.6日



令和6年度決算特別委員会 健康福祉分科会にて質問

子育て世帯訪問支援事業について

質問：令和6年度から新たにヤングケアラーのいる家庭も事業の対象とされたが、**実際にヤングケアラーへの支援につながったケースは？**



回答：学校から心配な家庭の情報が入り、話を聞く中で、**母親の体調不良のため、子どもが平日の食事の準備を担っており、精神的負担も大きいことがわかった。**そのため、週3回で**食事の準備、掃除の家事支援を実施した。**その後も継続的に、**学校と連携しながら、子どもや保護者との面接等を通し、悩みや不安の軽減ができるよう支援した。**

健康診査事業について

質問：現在、20歳と30歳、40歳～70歳の方（5歳刻み）を対象に歯周病検診が実施されています。

検診を受け精密検査が必要と判定された人のうち、**歯周病の疑いと判定された人の割合は？**

20・30歳用



40～70歳用



回答：

歯周病検診	受診率	要精密検査	歯周病
20・30歳	11.5% (491人)	61.1%	88%
40～70歳	13.1% (2266人)	78.5%	92.5%

○**ヤングケアラー**とは、本来大人が担うと想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行っている子どもの事です。宿題や授業への影響、友達と遊ぶ時間が取れない等の問題があり、ヤングケアラー自身が「自分はケアラーだ」と自覚していないため、支援につながりにくい傾向があります。安城市では、**学校との連携や、子どもへのアンケート調査を行い実態把握に努めています。**今後も一人でも多くのヤングケアラーが支援につながるよう、こうした取組のさらなる充実を期待し確認していきます。



○**歯周病**は、初期段階では自覚症状がほとんどなく、気づかないうちに進行し、歯を失う大きな要因です。全身の健康にも影響し、最近では糖尿病や動脈硬化との関連も注目されています。忙しさなどのために健診の機会を逃しがちですが、**定期的な歯科検診を心がけましょう。**



地域での困りごと、ご要望などございましたら
労働組合の「くらしの相談」やホームページにてご相談ください。

